



# 志津南 news

志津南ホームページ  
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (2/5 現在)  
世帯数 2,316 総人口 6,372 人  
発行  
志津南学区まちづくり協議会  
Tel(fax) 077-563-6206  
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

## 市が「地域応援交付金」承認 安全・安心・交流のあるまちへ



市会で、草津市の実施する平成31年度「がんばる地域応援交付金」に応募申請する事が承認され、これを受けて1月30日、草津市に申請書を提出しました。草津市による審査を経て2月28日、申請どおり交付が採択されました。

志津南まちづくり協議会  
は昨年10月6日、第5回理  
民アンケート結果を踏まえ、  
平成29年度に実施した住  
居アンケート結果を踏まえ、

### 4月から新連載2本スタート

2面の「ウチの子自慢」、3面の「続・お薬よもやま話」が今月号で終了します。これに代わって、来月から新たに次の2本の連載企画をスタートさせます。ご期待ください。

#### 野草の味力

山野で、はたまた里で目にする野草たち。心を和ませられるだけでなく、食卓の友にも。そんな野草たちの「味力」を町内在任の山野草の「目利き」が紹介します。

野草の中には「ためしてガッテン」とはいかない曲者もいます。試してみようかと思われる方は、くれぐれもご注意ください。

執筆は、藤井崇弘さん(若草6丁目)、滋賀・京都・近畿植物同好会で活動される一方、町内の山野草好きの

安全・安心・交流のあるまちづくり事業を展開しようとするものです。

2月14日、市役所での提案説明会では、まちづくり協議会会長と事務局長がプレゼンを行いました。写真▽事業の概要

1. 防災避難訓練の実施  
学区全体の避難訓練を行います。また、非常時の必要備品(停電に備え携帯用発電機やLED投光器、携帯電話の充電器)の取り扱い説明会を実施します。

要望に応じて約10年前から観察会を開催されています。豊富な野草観察眼と村井由美子さん(若草3丁目)のすてきなイラストをお楽しみください。

#### 沖縄千夜一夜

若草に住むこと32年。その間、志津南学区自治連合会会長、同まちづくり協議会会長を歴任、まちづくりに貢献された中原勝一さんが念願の沖縄に単身移住されて丸一年。

1DKの賃貸マンション

2. 環境美化活動の実施  
学区内の環境を維持するため各町内会で年間4回の一斉清掃を行います。さらにボランティアによる環境美化活動を支援します。

### 20人から換金申請

市地域ポイント  
平成30年7月から募集した草津市地域ポイント制度



全ての住民が安全・安心・交流のあるまちづくりを目指し、町内会単位の活動を一層活性化することで、近隣のふれあい希薄化の解消が期待されます。

31人の方から申請をいただいていた。同制度は、地域コミュニティの希薄化や地域活動の担い手不足、役員の高齢化等の課題を解決するひとつの手段として、草津市が実施するものです。年度末を控え、5ポイント以上上ためた20人から、総数で110ポイント(金額にして11,000円)の換金申請をいただきました。

### センター工事はほぼ終了



志津南まちづくりセンターのリフォーム工事は、年明けの1月7日から本格的に工事を開始、2月8日までに外壁全体が完成、館内の工事のため、2月9日から16日までの間、全部屋の貸し出しをお断りし、各部屋の古い空調機を入れ替え、設備工事は完了しました。

当初の予定より少し遅れこみ、まだ正面階段の手すりやタイル貼りなどごく一部の工事が残っていますが、新年度からは利用者には快適な環境で活動していただけます。

志津南学区まちづくり協議会では、平成30年度のポイント付与事業としてセンター主催の健康講座、ふれあい夏まつり、町内一斉清掃の事前草刈りの3事業を対象にしました。

今年度は台風の影響でポイント付与事業である「ふれあい夏まつり」が中止となり、予定していたポイント数を大きく下回りました。平成31年度も引き続き実施されますので、申請されていない方は登録申請を行ってください。詳しくは志津南まちづくりセンターまでお問い合わせください。電話 (563) 62006



濱田れん 追分鴨田

体が小さくて怖がりな甘えん坊のれん君。でも吠えようと迫力は人一倍よ！5歳です。



ぼくホントは、強いんだぞー

＝おわり

特殊詐欺の手口などについて説明する講師



詐欺手口どんどん巧妙に

志津南まちづくりセンターは2月20日、第9回志津南やすらぎ学級「詐欺防止講座」を開催し、27人が参加しました。講師には志津交番の森下さん、高橋さん、寺田さん、おん3人をお迎えしました。

特殊詐欺について、現状や手口と対策などの講演をいただき、その後DVDでも学習しました。特殊詐欺には「オレオレ詐欺」「架空



熱心に聞き入る学級生

請求詐欺」「還付金等詐欺」などがあります。近年、電子マネーの架空請求や還付金の詐欺も増加し、滋賀県でも昨年107件、およそ3億円の詐欺被害が発生し、高齢者(65歳以上)の被害者は54人、被害総額は1億円を越えています。「詐欺の手口は近年どんどん悪質・巧妙になってきている。うまい儲け話はありません。一人で解決せず皆で対応を」とアドバイスをいただきました。一人で悩まず、抱え込まず、まず相談をすることで、犯罪を防ぐ大切なキー

安全パトロールメンバー募集中



志津南学区安全パトロールグループは現在13人。志津南小学校児童の登下校時、横断歩道等での誘導や、防犯等を目的とした町内安全パトロールを行っています。スター前交差点の信号が歩車分離式となつて、安全性は増しましたが、まだまだ危険があります。周辺の住宅開発が進み、交通量が増え児童数も増加したため、横断歩道が1回で渡り切れない状態になっています。横断中しばしば車が分断され、渡り終えた児童が、並ぶ店舗の駐車場で残りの児童を待つという状況が、このグループは平成16年、

地域を見守るボランティア活動として4人で発足し、13年続いてきました。が、まだまだメンバーが不足しており、パトロールに参加していただける方を募っています。一人でも多くの方に、児童の安全を見守る活動への参加をお願いいたします。参加可能な方やお問い合わせは、安全パトロール・スクールガード代表 和田基さんまでご連絡ください。電話(566)19333

ワードは「絆」です。警察ろん、気の許せる親類や友や消費生活センターはもち人等への相談も有効です。みて かんじて かんがえて 志津南学区民生委員児童委員(垣根和子会長) 10人環で、京都にある立命館国際平和ミュージアムを訪れました。写真は、総合的なテーマである日本が起した「一五年戦争」について、悲惨、苦しみ、悲しみを伝えるだけでなく、戦争によって人間の自由や思想、希望、人権が奪われたことな

ど、人類最大の汚点行動である戦争が引き起こした被害や加害の実相を知り衝撃を受けました。そして平和創造のためにはこのミュージアムで「みて、かんじて、かんがえて」とほしくガイドの方から詳しく聞くことができました。しかし世界では今なお地域紛争は絶えることなく多くの人が飢えや貧困、人権抑圧、環境破壊など生存の危機にさらされています。今日本は平和な国だといわれていますが戦争がなければ平和なのか貴重な展示物を巡りながら充実した自身の濃い研修ができました。

# なくそう高齢者の自転車事故

交通防犯委員会(澤田文男委員長)は2月23日、志津南まちづくりセンターで「自転車安全安心利用教室」を開催しました。写真。「知ってそうで知らなかった自転車利用のルールなどについて、今一度考えてみませんか?」と呼びかけたところ、若草・岡本西町内会から58人が参加しました。



講師に、草津市役所交通政策課「自転車チーム」の指導員お二人を招き、「自転車はどこを走ったらいの?」「自転車事故発生時の対処は?」「自転車保険って何?」などの疑問や自転車に関する道路交通法などについて、分かりやすく話を伺いました。質疑応答では、多くの方から質問が飛び交い、講師から一つひとつ丁寧に答えていただきました。

## 友愛訪問で温かな出会い



志津南学区民生委員児童委員協議会(垣根和子会長)は2月5日から28日の間に学区友愛訪問を実施しました。写真。

日頃体をいたわりながら、趣味や読書、運動など、多感するセンサーを混乱させてしまうためではないかと想像しています。

彩な毎日お過ごしている85歳以上の方112人を訪ねました。手作り小箱に甘いものと緑茶をセットしたやさやかなプレゼントを手に、安否確認を兼ねた訪問活動です。

運よくデイケアから帰ってきた方は「来て下さってうれしいわ」とさっそく小箱を開けて「かわいいね」と笑顔で応じて下さったり、寒い中、こちらの姿が見えなくなるまで見送って下さった方に感激しました。

志津南学区体育振興委員会(田中三男委員長)は2月24日、ACT草津エースレーンでボウリング大会を開催しました。写真。



## レーン借り切ってボウリング

追分南町内会「元氣くらぶ」は2月26日、追分南会館でグルメサロン(つみれ鍋)を開催しました。写真。

当日は男性ボランティアが床にブルーシートを敷いたり、テーブルを並べるなど力仕事を担当、女性ボランティアが調理を担当し、参加者31人がそれぞれに用意してもらった野菜、つみれを煮込み始め、談笑したり、鍋の蓋を開けてのぞき込んだりしながら煮あがり待ちました。

名も優雅な「月下美人」はサボテン科の植物で、育てるのが中々難しい上、7〜9月の深夜から未明にかけて一晩だけ咲く花を見る人は稀だとも言われている珍しいものです。

## 月下美人



わが家では近くに住む知人から10年ほど前に分けて貰った小さな葉を鉢に挿し木して縁側に放っておいた。そして、午後から蕾がた体内時計や、月の引力が

今年初めの花4輪が7月上旬に咲きました。この花は10日ほど前から日に約1センチずつ下方に伸びます。開花する日には蕾(つぼみ)は10センチくらいの長さになり、蕾を付けた花茎が力強く持ち上がって空に向きま

「お薬」よもやま話 <12> ところ、数年前から毎年花を咲かせるまでに育ちました。世話し過ぎないのが幸いとは、わが家に向いていないのかもしれない。

追分南町内会「元氣くらぶ」は2月26日、追分南会館でグルメサロン(つみれ鍋)を開催しました。写真。

準備が整い、参加者31人がそれぞれに用意してもらった野菜、つみれを煮込み始め、談笑したり、鍋の蓋を開けてのぞき込んだりしながら煮あがり待ちました。

# 「絆」7周年 ぜんざいで身も心もほぐす

ふれあいハウス「絆」は2月5日、7周年を迎え、利用者とともにやさやかに祝いました。写真。



日頃は地域の皆様のご利用ご支援をいただき心から感謝申し上げます。  
立春も過ぎ、春の息吹を感じる暖かな当日、手作りのおぜんざいやコーヒーなど飲み物を用意して皆さまのお越しをお待ちしました。

10時の開店と共にお友だち、親子さん、ご夫婦、お一人ごと、80人余の大勢の利用者が入れ替わり立ち替わり

お見えになり、温かなおぜんざいに素敵な笑顔とおしゃべりに花が咲き、大変賑わいました。

「こんな気楽なところがあって、出会った人と世間話もできて本当にありがたい」「おいしかったです」とお声もいただきました。また2階では肩の凝らない「やさきよの漫才」の上映に笑い声も絶えず、一日をほっこり、ゆっくり寛いでいただきました。

30年度のふれあいハウス「絆」は、年間約6千人(子どもさんを含めて一日平均15~25人くらい)の方がご利用くださいました。そして、日頃は各サークル、班

## ルール・マナーを守りましょう

マナーとは思いやりの心かも知れませんが、「自分一人くらい…」ではなくて「自分だけでも…」。周りの人のことを思いやれたらいいですね。



### やめよう迷惑駐車

近年、各町内において、路上の迷惑駐停車が多く見受けられます。これは、事故につながる恐れや緊急車両通行の妨げになります。

特に、車道脇に塗装されたグリーンベルトや交差点付近での駐停車は、交通違反

### 敷地内は全面禁煙

健康増進法が改正され、平成31年7月から第一種施設(行政機関の施設)では敷地内全面禁煙となります。

反として検査されます。

事故などを未然に防ぎ、住みよいまちづくりの為に、これから警察の指導や巡回をいただきながら、路上の駐停車に対応していきます。

住民の皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

志津南まちづくりセンターでは既に実施しておりますが、利用者の皆さまには一層のご理解ご協力をお願いします。

### 新春お茶会



会議、女子会、待ち合わせなどにもご利用いただきました。  
また、守山市主任児童委員、守山市玉津学区福祉委員・民生児童委員など他市町からも研修、見学にいられました。  
これからも皆様のご利用をお待ちしています。

地域サロンなごみ会(浅野謙一代表)は2月21日、かがやきの丘きらり会館で新春お茶会を開催しました。写真。

若草在住の下村静子先生をお招きして、茶道の手ほどきを受けながら、皆で順番にお点前をして、おいしいお茶と春らしい干菓子と和菓子をいただきました。

外は寒い一日でしたが会館の中は暖かい春のひとときでした。

### パソコン始めませんか

志津南まちづくりセンターでは次の要領で、全員の初心者対象の「パソコン入門講座」を開催します。

▽日時 4月16、18、23、25日(火、木) 9時~12時(4回で1コースです)

▽場所 志津南まちづくりセンター

▽内容 マウスの持ち方から始め、効率の良い文字入力を学びます

▽持ち物 ワードがインス

ツールされたパソコン(持ち込みが難しい場合は、事前に相談ください)

▽参加費 2000円

▽申し込み 直接志津南まちづくりセンターにお越しください。

(電話受付不可)

パソコンの駅

▽パソコンについての相談

▽3月25日(月)、4月25日(土) 13時~16時

▽志津南まちづくりセンターサロン

### 資源回収

□毎月第1・3日曜日

★若草1~5丁目町内会

□毎月第2・4日曜日

★若草6~8丁目町内会

岡本町西町内会

□毎月第2・4土曜日

★かがやきの丘町内会

□毎月第1・3土曜日

★フォレストローズ子供会

□毎月第2日曜日

★向山子供会

※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・古着

### 折々の記



ディア大学(県の老人大学)出身者だった。そこで、レイカディア大学の陶芸課に入學した。陶芸課で自由研究が課された。結構な数の人間が野焼きを選んだ。野焼きすることになって、陶芸家の助手の先生と一緒に野焼きをしたと言われた。

### オカリナと出会って

聞くと、以前から普通の陶芸窯でオカリナを焼いているが、本来の姿(土器)とは程遠い音となってしま

うという。やわらかい音のオカリナが焼きたいとのことだった。また、レイカディア大学のサークル活動で話を聞いて仲間になった方

もいた。

皆、特に何を焼くということもなかった。でも、教えてもらって、オカリナを作ることになった。8月のレイカディア大学祭で、作ったオカリナで演奏することになり、長期間カラオケハウスに集まり練習を重ねた。大学祭での発表が終わり、その後もオカリナ演奏を続けることになった。

選んだのが志津南まちづくりセンター。月に4回練習し、ボランティア活動として各所で演奏している。会の名前は野焼きにちなんで「野火野火アンサンブル」という。演奏できる曲も増え、やっと会の名称のアンサンブルも演奏できるようになった。

(鮎つかみ名人)